

高知工科大学と地域教育の連携：2012

検証と総括

長崎 政浩*

(受領日：2013年5月7日)

高知工科大学共通教育教室・地域教育支援センター
〒782-8502 高知県香美市土佐山田町宮ノ口 185

* E-mail: nagasaki.masahiro@kochi-tech.ac.jp

要約：本年度実施した、地域の初等中等教育との連携教育の取組を報告し、その検証と総括を行う。大学と学校との協働の取り組みにも改善が見られ、大学と地域教育との連携の新しい方向性も見え始めた。今後は、本年度策定した中長期的ビジョンの実現のため、全学的な取り組みを展開していく必要がある。

1. はじめに

本稿では、2012年度の地域教育支援センターの活動報告及びその検証と総括を行う。

2. 地域教育支援センターのビジョン

本学は、高知県教育委員会と「高知工科大学と高知県教育委員会との連携教育に関する覚え書き」(平成16年11月)に基づき県内の教育機関と連携・協働による次のような教育活動を進めている¹⁾：

- 1 児童生徒の学習指導に関する事項
- 2 教育研究に関する事項
- 3 教員研修に関する事項
- 4 学校教育上の諸課題への対応に関する事項
- 5 その他両者が必要と認める事項

具体的な内容については、後述するが、図にある各領域において、それぞれの活動を進めている。従来は、児童・生徒対象の訪問教育のような単発のものが中心であったが、ここ数年は、大学と学校の役割分担が明確化し、双方の強みをいかした、継続性、連続性のある連携教育の形が生まれつつある²⁾。

2012年度、学内に各学部・学群代表で組織された地域教育支援センターが設置され、これまでの本学の取組みの検証と総括を行い、今後10年間を見据えた地域教育支援ビジョンの策定を行った。

背景には、深刻な理科離れと子どもたちの学びか

	教育・研修	研究
児童・生徒	Bluebird訪問教育 おもしろ科学教室 大学見学 領域I	高校生課題研究発表会 領域III
	個別の学校との 連携教育・連携研究 領域V	
教職員	領域II パソコン活用セミナー 理科、数学、英語教員研修	領域IV エネルギー科学教育研究会 教員研修モデルカリキュラム

図1. 地域教育支援活動の各領域

らの逃走、高知県の子どもたち学力問題、地域振興のエンジンとして求められる生涯学習・社会人教育の充実の必要性などがある。また、地域教育支援活動の今後の役割として、知の拠点として教育・研究の成果を地域に還元すること、学生募集との棲み分けを図ること、地域教育支援活動からのフィードバックを大学の教育・研究改善に活用することの必要性なども議論された。

そのうえで、今後の地域教育支援センターのミッションを定めた。

地域教育支援センターのミッション 学びあふれる新しい高知県づくり 「高知の子どもたちに学ぶ楽しさを伝えたい」 (学校教育) 「県民が学び続ける風土づくり」 (生涯学習)
--

今後は、このミッションを実現するため、①小中学生への焦点化②生涯学習機能の強化③教員の力量形成に向けた取組の体系化に取り組んでいく計画である。

3. 2012年度の地域連携教育

3.1 児童生徒の学習指導

① Bluebird 訪問教育

Bluebird 訪問教育は、最先端の科学技術に触れることで児童・生徒の学習意欲を高め、基礎学力の定着と学力の向上を図ることを目的として実施している。本学教員が、県内の中学校、高等学校を訪問し、大学レベルの講義や演習を行っている。また、教員の指導力向上のための校内研修への講師派遣も同時に行なっている。

本年度の Bluebird 訪問教育の実績は資料1に掲載している。訪問回数等は過去数年間あまり変化はないが、図2のとおり、小中学校への訪問が微増していることが分かる。次年度は、訪問教育についての学内調査を行い、さらに小中学校の訪問を充実させたいと考えている。

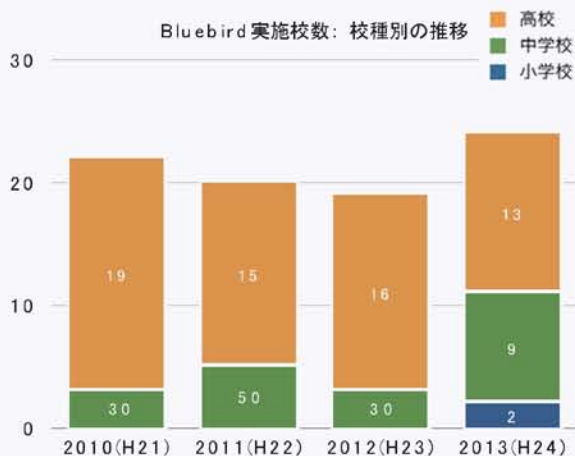


図2. 校種別訪問校の推移

年度	講座テーマ数	教員数	訪問回数
2009	80	28	54
2010	78	26	52
2011	67	26	43
2012	78	33	42

② おもしろ科学教室

小学生を対象とした科学教室である。従来は、小学校や保護者会からの依頼が中心であったが、放課後児童クラブからの依頼や春野運動公園などが独自に企画するイベントへの協力要請も出てきている。初等教育の段階で、科学の面白さに触れさせる機会を増やすことは重要であり、今後は大学独自企画の科学教室開催の可能性も探りたい。

日付	学校・団体	内容	担当教員
6/17	野山小学校	自転車人力発電体験	八田研
7/6	舟入小学校	自転車人力発電体験	八田研
		模型風車による発電と充電 ホンモノを探せ！万華鏡の見え方の不思議！？	筒井康賢 野中弘二
8/9	春野総合運動公園	ペットボトルロケットを作ろう	スペラボ(平林)
8/10	旭小学校 放課後児童クラブ	ブーメランを作って飛ばそう	航空研究会(尾前)
8/13	神田小学校 放課後児童クラブ	X ジャイロを飛ばそう	星野孝総
8/21	いの町教育委員会	ホンモノを探せ！万華鏡の見え方の不思議！？	野中弘二
8/22	横内小学校 放課後児童クラブ	プラネタリウムを体験しよう	スペラボ(西村)
11/6	香我美小学校	エネルギー教育	八田研
12/14	春野総合運動公園	天体観測	スペラボ(西村)
12/22	高知放送	自転車発電体験	八田研究室

③ 大学見学

地域教育支援センターが受け入れている大学見学は小中学生を対象としたものである(高校生対象の大学見学は、進路指導が主な目的であるため、入試広報部が別途受け入れている)。大学キャンパスや施設を見学し、大学の研究の一端を経験することで、児童生徒の興味関心を高めることをねらいとしている。本年度は、新たに大学キャンパスを使ったオリエンテーリングのプログラムも開発し、実施した。子どもたちには、最先端の科学技術を体験するだけでなく、本学のキャンパスで美しい自然をも楽しんでほしいものである。

日付	学校・団体	内容	担当教員	参加者数
6/1	片地小学校	医療用ロボットに触れよう	王研究室	8
6/21	鏡野中学校	聞き取り学習「地域探検」	岡花直人	6
7/12	青島グランド中学	持続可能な発展を目指して	渡邊法美	23
7/31	進学教室プラクティス	医療用ロボットに触れよう	王研究室	50
8/27	香南市社会福祉協議会	医療用ロボットに触れよう	王研究室	104
		ハイテクコンクリート実験	宮地日出夫	
		ピーマン収穫ロボットに触れる	岡研究室	
10/12	十津小学校	自転車人力発電体験	八田研究室	67
		風洞実験	筒井研究室	
		電子顕微鏡でナノの世界をのぞいてみよう	新田紀子	
10/12	須崎小学校	液体窒素を使った実験	綿森道大	59

④ 高等学校産業教育生徒研究発表会

本学を会場として、高等学校産業教育生徒研究発表会（高知県教育委員会主催）を開催している。これは、産業教育関係学科に学ぶ高校生の「課題研究」等の研究成果の発表会である。県内の児童・生徒の自主的な調査研究を奨励するために、高知工科大学長賞を設けている。また、高校生の優れた取組を広く普及することを目的として学長賞授賞研究を、本学紀要に掲載することとしている。本年度は、マーケティングについて学びながら、地域の企業と共同での商品開発に挑んだ高知県立伊野商業高等学校の「総合実践・マーケティングの力！！」（同校メディアクリエート科、宮地勝利、濱田啓太、正岡嗣紹、大井夕香里、濱田美歩）が学長賞を受賞した（資料2）。また、本年度は、工業科指導法を履修する学生の参加もあり、活発に質問をする場面が見られた。将来、教員を目指す学生にとっては、貴重な機会となるので、今後の関わり方を検討したい。

日付	内容	担当教員
1/13	高校生産業教育研究発表	長崎政浩

3.2 教員研修

① パソコン活用セミナー

高知県教育センターの研修講座の一つとして、本学の施設を利用して実施している。本年度は、本学教員の指導のもと、大学院生が講師となり3講座を開講した。丁寧な指導と手厚いサポートができたこと、さらに、講座の内容を日々の実務に役立つより実践的なものに絞ったことで、受講者の満足度も高かったようだ。指導する学生にとっての効果なども検証しつつ、セミナーの充実を図りたい。

日付	内容	担当教員	参加者数
8/20	プレゼンテーションソフト活用講座	井上昌昭	29
8/22	表計算ソフト活用講座（成績表と学級会計報告書の作り方）	井上昌昭	10
8/23	表計算ソフト活用講座（データ処理とグラフの作り方）	井上昌昭	18

② 理科・数学・英語教員研修

理科、数学の教員研修は、外部団体からの依頼を受けて、研究大会等での講演を行った。英語では、本学主催で、県外の優れた授業実践家を招いて、よりよい授業づくりのためのワークショップを行った。

日付	主催団体等	内容	担当教員	参加者数
8/7	香美市教育委員会・香南市教育委員会	超伝導と強磁場の世界	堀井 滋	30
12/1	高知県高等学校数学教育研究大会	学生の論理的思考力の向上を目指して	鈴木利幸	25
12/4	高知県理科教育研究大会（香美・香南大会）	自然に確かにかかわる力を育てる理科教育	八田章光	100
2/17	環境・放射線セミナー	放射線教育に関する講義	八田章光 百田佐多生	21
3/24	英語教員ワークショップ（高知工科大学）	吉野ヶ里町立三田川中学校吉田喜美子氏「英語好きかも？」を育てませんか」	長崎政浩	40

3.3 教育研究

教科教育に関する共同研究である。

① エネルギー科学教育研究会の活動

地域の学校におけるエネルギー環境教育、エネルギー科学教育の推進と普及に取り組む研究会である。地域の学校等からの要望に応じて、エネルギー環境教育の教材を提供したり、実験に必要なスタッフを派遣し、エネルギー環境学習の授業や実験に協力する活動を行っている。

② 教員研修モデルカリキュラム開発プログラム
独立行政法人教員研修センターの委託期間は前年度をもって終了したが、高知県教育センターとの共同研究は継続した。高知県の「中学校英語授業改善プロジェクト」（高知県教育センター主催）の研修プログラムづくりの3年間は本年度をもって終了となる。この間開発したプログラムや教材は今後の研修実施に活用される予定である。

③ 英語授業の幹プロジェクト

中高の英語教員の研究グループ（土佐教育研究会外国語部会及び高知県高校教育研究会英語部会）と共同で進めている授業研究プロジェクトである。活動の中心は、メーリングリストを使ったオンライン・ブック・クラブと月に1回の例会であり、ここでの研究成果は年次の研究大会などで毎年発表されている。オンライン・ブック・クラブを使った方法は、吉田新一郎『読書がさらに楽しくなるブッククラブ』において、新しい共同研究の手法の一つとして紹介された³⁾。筆者は、他の共同研究においても、この方法を用いたが、メンバーの主体的参画を促し、遠隔地にあっても共同研究が可能になるなど、地域教育支援活動における可能性が示唆された。

3.4 連携教育・連携研究

個別の学校との継続的な連携教育・連携研究である。文部科学省や高知県教育委員会の研究指定によるものと、具体的なテーマを設定して個別の学校と共同研究を進めているものがある。本学側から、講師として出向き、直接生徒の指導にあたるものもあるが、指導方法や授業作りについて共同で研究を進め、各校の教諭が指導を行うものもある。

高校名	内容
高知南	○英語プレゼンテーションプロジェクト（共同研究） ○マネジメント学習、カレッジコラボ
山田	キャリア教育、商い甲子園出場支援
安芸桜ヶ丘	SKEセミナー。大学研究室の一日体験実習及び大学生との座談会。
高知小津	文部科学省「スーパー・サイエンス・ハイ・スクール」の研究に対する支援。
土佐塾高校	連携講座
土佐塾中学校	中大連携セミナー。学内オリエンテーリング、ワンデイサイエンスセミナー

4. 検証と総括

4.1 地域教育支援センターの新ビジョンの策定

本年度は、地域教育支援センターとして、学内センターの位置づけを得たことで、学部・学群を超えた議論が可能になり、今後の中長期的ビジョンを描くことができた。次年度は高校生数学コンクールや高校・大学英語プレゼンテーション大会などの新規事業の計画も進んでいる。この他にも、永国寺キャンパスを活用した公開講座の実施、日常的に大学教育に触れることの少ない地域に大学教員が出向く地域教育キャラバンなどの新しいアイデアも出されており、今後の活動のより一層の充実を期待したい。

4.2 継続性・連続性のある取り組みの充実

大学と地域教育の連携には、確立されたモデルは存在しないと言われてきた。本学の取り組みを検証した中でも (1) 連携教育の目的や在り方が不明確であること (2) 継続性、連続性のない単発の連携に陥ってしまいがちであること (3) 生徒の現状を踏まえた到達点の共有と指導の接続があることなどが課題として挙げられてきた⁴⁾。

この点については、大学と学校の双方の協働による取り組みが増加してきており、少しずつ改善が図られてきているようである。

4.3 新しい共同研究手法の探究

新しい共同研究の手法を探究し、普及させていくことが、今後の重要な課題として明確になった。3.3で紹介したブック・クラブとは「特定の本をメンバーが事前に読んできて、面白いと思ったところや考えたこと、そして疑問に思ったことなどについて話し合う会」(p.13)であるが³⁾、ブック・クラブという考え方は、21世紀に生きる日本人にとって不可欠な学びの在り方を提案してくれるものであった。高知南高校との共同研究では、Erik Palmer (2011) *Well Spoken - Teaching Speaking to all students, Stenhouse.* という本を10名近くの英語教員とオンラインでの読み会で読んだが、本を読み合うだけでなく、読んだことが実践され、実践の振り返りも豊かなものになった。通常の輪読会では生まれない豊かな学びが双方にもたらされる、非常に効果的な方法であることが示唆された。

4.4 本学のもつリソースの見つめ直し

小中学校教育への焦点化や生涯学習、社会人教育の必要性の高まりなどの状況を考えた時、今一度本学のもつ教育・研究のリソースの見つめ直しが必要になるだろう。ここ数年、提供できるプログラムの

固定化もあり、また、新しい教職員の数も増加している。次年度は、地域教育支援のための新しいプログラムの策定や共同研究の、より一層の充実のために、学内調査を実施する予定である。

5. おわりに

ここ数年、開学以来の地域教育支援の取り組みの検証と総括を進めてきた。そこで明らかになった課題は、少しずつではあるが解決がなされてきているように思われる。さらに、本年度、センター化されたことで、学部・学群を超えた広く、より深い総括が可能になり、次年度以降の中長期的なビジョンを描くこともできた。今後は、このビジョンの実現に向けて、不断の見直しを続けながら、全学的な協力体制を構築していきたいと考えている。

文献

- 1) 長崎政浩「高知工科大学と地域教育の連携:2010 検証と総括」『高知工科大学紀要』第8巻第1号 2011年6月.
- 2) 長崎政浩「高知工科大学と地域教育の連携:2011 検証と総括」『高知工科大学紀要』第9巻第1号 2012年6月.
- 3) 吉田新一郎『読書がさらに楽しくなるブッククラブ』新評論 2012.
- 4) 長崎政浩「大学と地域教育の連携に関する一考察-学校教育と大学の新しい協働の構築に向けて」『高知工科大学紀要』第7巻第1号 2010年7月.

資料1 2012年度 Bluebird 訪問教育一覧

日付	学校	内容	担当教員	参加者数
2012/7/19	四万十町立窪川中学校	はやぶさ帰還観測に参加して	山本 真行	95
2012/7/19	山田高等学校	プラスチックの識別とリサイクル	小廣 和哉	36
2012/7/19	山田高等学校	不思議な水ー超臨界水ーを用いる環境新技術	小廣 和哉	35
2012/7/19	山田高等学校	糖の甘さの違いがわかりますか？	松元 信也	36
2012/7/19	山田高等学校	エネルギーと地球環境	八田 章光	36
2012/9/4	高知東高等学校	危ない Web サイトとは？～大事な情報が盗まれないために～	植田 和憲	56
2012/9/10	高知工業高等学校	自然エネルギーと太陽電池	角 克宏	41
2012/9/18	春野高等学校	高校生のための英語プレゼンテーション入門	長崎 政浩	29
2012/10/11	梶原高等学校	高校生に贈る近未来への指針ー日本は、世界は、どこを目指しているのかー	山本 真行	10
2012/10/12	宿毛市立橋上中学校	音の世界を知ろう！	山本 真行	13
2012/10/13	香美市立片地小学校	ペットボトルをつかって、X ジャイロをつかって飛ばしてみよう	星野 孝総	30
2012/10/15	上佐町立上佐町中学校	大学でマネジメントを学びませんか？	桂 信太郎	34
2012/10/18	宿毛工業高等学校	家族と住まい	吉田 晋	25
2012/10/24	安芸高等学校	将来ジェットエンジンはどんな形になるか	筒井 康賢	30
2012/10/24	安芸高等学校	花粉症とワクチンの話	榎本 恵一	30
2012/10/24	安芸高等学校	不思議な超伝導現象：ゼロ抵抗と反磁性	前田 敏彦	30
2012/10/24	安芸高等学校	ブランドの不思議ーブランドの価値を考えよう	末包 厚喜	30
2012/10/26	香美市立片地小学校	モデルロケット打ち上げ	高崎 敬雄、 山崎 和雄	30
2012/10/29	高知市立大津中学校	はやぶさ帰還観測に参加して	山本 真行	77
2012/10/29	高知工業高等学校	君の夢は何ですか？	小林 正二	41
2012/10/30	高知農業高等学校	くすりの話	西脇 永敏	34
2012/11/7	高知商業高等学校	はやぶさ帰還観測に参加して	山本 真行	32
2012/11/9	須崎市立上分中学校	君の夢は何ですか？	小林 正二	35
2012/11/9	高知西高等学校	電磁波ってなんだろう？	山本 真行	40
2012/11/9	高知西高等学校	糖の甘さの違いがわかりますか？	松元 信也	40
2012/11/12	高知工業高等学校	天然ダイヤモンドと人工ダイヤモンド	八田 章光	41
2012/11/16	高知西高等学校	ナノの世界	新田 紀子	40
2012/11/16	高知西高等学校	天然ダイヤモンドと人工ダイヤモンド	八田 章光	40
2012/11/16	四万十町立北の川中学校	音の世界を知ろう！	山本 真行	22
2012/11/19	高知工業高等学校	フィボナッチ数列と黄金比	井上 昌昭	41
2012/11/19	高知商業高等学校	イノベーションってなんだろう	富澤 治	35
2012/11/20	岡豊高等学校	はやぶさ帰還観測に参加して	山本 真行	46
2012/11/29	嶺北高等学校	原子力と放射線	八田 章光	36
2012/12/13	高知工業高等学校	宇宙技術で地球を測る	高木 方隆	41
2012/12/13	高知工業高等学校	仕事って何だろう？	高木 方隆	40
2012/12/14	土佐町立土佐町中学校	エネルギーと地球環境	八田 章光	34
2012/12/17	高知工業高等学校	くすりの話	西脇 永敏	40

商業科目・マーケティングにおける取り組み ～マーケティングの力～

メディアクリエート科

宮地勝利 濱田啓太 正岡嗣紹 大井夕香里 濱田美歩

高知県立伊野商業高等学校
781-2110 高知県吾川郡いの町 332-1

E-mail: inosho-h@kochinet.ed.jp

要約：商業科目・マーケティングの授業において、実践型の研究を行うとともに、地域の企業と連携し、地元へ根ざした商品開発を行った。実際に商品を開発することによって、生の流通方法や原価計算、販売促進などのマーケティング手法を体験するとともに、ものづくりの大切さや商品に対する地域の人たちの想いを理解することや、協力を得ることができた。

1. 総合実践・マーケティング選択

高知県立伊野商業高等学校は、県立高唯一の商業高校であり、現在、メディアクリエート科、ビジネス会計科、デザイン科、国際観光科、情報ビジネス科の5つの学科がそれぞれの特色を生かした実践的な授業や活動を行っている。卒業を前に商業の勉強を基本から学び実践したいと考え、総合実践の授業でマーケティングを選択した。



2. 市場調査（交通量・商品陳列）

マーケティングにおける商品の流れをつかむことを目的に全員でブレインストーミングを行い、2つの調査を実施した。国道33号線サニーアクシス伊野店前で計数カウンターを用いて交通量の調査を行った。結果は、1時間当たり約600台、一日約1万5千台、年間500万台の交通量があることが判明した。同じくサニーアクシス伊野店内にて商品の陳列状況を調査した。さまざまなレイアウトがあることや売れ筋商品や目玉商品を中心に陳列されていることが判明した。

2つの調査結果から魅力ある商品や催しが人の流れを作っていると推測した。



3. 商品研究

魅力的な商品とはどのようなものか？インターネットや雑誌、実際に各商店などを回り、独自に商品研究を行った。時間はかかったが調査の結果、高知県には一次産品を中心とする商品が多いことが判明、またその商品が県外や国外を中心に輸出されていることが判明した。

4. 企業訪問

商品研究でピックアップした企業を訪問し商品に関することを取材した。高知アイスでは、地元の素材を使うことの大切さや WINWIN の関係についてのお話を聞くことができた。またシフォンケーキのジョエルでは商品に対するこだわりや売り手買い手双方の利益について考えさせられた。ミレービスケットで有名な野村煎豆加工店では、商品に対する想いや商品の生まれた歴史や背景についてのお話を聞くとともに、商いの難しさや楽しさについてのお話を聞くことができた。

3社のインタビューを行うことで、魅力ある商品は企業の情熱と継続的な努力でできていることが分かった。



5. 商品開発

各企業のインタビューで刺激を受けた私たちは、自分たちのオリジナル商品の開発を発案した。想いやアイデアを込めた商品を育て、流通させることでマーケティングの流れをつかむとともに、企業がどのように商品を開発しているのかを感じようとした。

何時間も案を出しては、素材を探し、試作を繰り返し、開発する商品を「ミレービスケットアイス」に決定した。何度も高知アイスと野村煎豆加工店との打ち合わせを繰り返し、商品のラベルデザインなどの考案を行い、ついに完成！ミレービスケットアイス！！クラッシュタイプのミレービスケットと高知アイスの塩バニラが見事にコラボレーション！表面にミレービスケットをそっと飾ったら、どこにもない伊野商オリジナルアイスを開発することができた。

6. 販売実習

伊野商デパート（文化祭）にて、実際に販売を行った。今回はテスト販売のため、単価を@¥120に設定し、売れ行きと購入者の意見を聞くことを中心に活動を行った。結果、220個のアイスが飛ぶように売れ、見事完売した！販売と同時に商品に関するアンケートも実施することができた。

今後は、ミレーの商標使用許可を取るとともに、県内のスーパーや道の駅での継続販売を計画している。またオリジナル商品第2弾「完熟とまとシフォン」の計画を進めている。

7. 販売促進（CM作成）

今回の企業訪問で、商品の販売促進の難しさや宣伝活動における費用についての話を聞くことができた。私たちはメディアクリエイト科の3年生で、映像や情報技術を3年間学んでいるので、商品開発のお礼として、CMを作成し、今後の販売促進活動に生かしてもらうことにした。

8. 活動のまとめ

今回の商品開発を通じて、たくさんの企業そしてたくさんの協力者に会うことができた。まだまだ未熟な私たちの話をちゃんと聞いてくれ、あたたかく協力してくださった方の力があって初めて商品を開発することができた。卒業まではまだ時間があるので、このミレービスケットアイスやトマトシフォンを育て、後輩に受け継ぎ、伊野町を代表する商品に育てていきたい。





資料3 2012年度 高知県産業教育高校生研究発表大会 研究発表一覧

	種別	学校名	発表グループ	内容
1	商業	山田高等学校	商姜ールズ	We are 商姜ールズ ～We Love ジンジャー～
2	工業	高知工業高等学校	高知工業高等学校 機械科	折畳みリヤカー (製作の軌跡)
3	農業	高知農業高等学校	微生物班	解凍 de パン III ～清酒酵母を用いた凍結パン生地の開発～
4	家庭	中村高等学校	高知県立中村高等学校 家庭クラブ	今私たちができること ～ECO意識改革～
5	商業	安芸桜ヶ丘高等学校	ビジネスOA部	安芸なすPR大作戦 ～環境保全型農業の紹介～
6	工業	宿毛工業高等学校	宿毛工業高等学校 情報技術科	スピーカーシステムの製作
7	看護	高知東高等学校	高知東高等学校 看護科 3年	看護臨床実習を終えて、看護専攻科に向けての課題～コミュニケーション能力の習得に向けての取り組み～
8	水産	高知海洋高等学校	食品科学部	ウルメプロジェクト ブランド化への協働研究
9	工業	須崎工業高等学校	ユニバーサルデザイン科 3年 建築班	近隣保育園「遊具(滑り台)」「給食展示台」の製作
10	商業	伊野商業高等学校	伊野商業高等学校メディアクリエート科	総合実践・マーケティングの力！！
11	工業	安芸桜ヶ丘高等学校	電気システムコース	エネルギー教育に関する取り組み
12	農業	幡多農業高等学校	アグリサイエンス科養豚班	おいしい豚肉の生産
13	家庭	高知農業高等学校	課題研究 被服班	エプロンシアターで食育
14	工業	高知東工業高等学校	高知東工業高校 情報技術部	全・定・企業 三者連携プロジェクト ～相撲ロボットを作る～
15	商業	高知商業高等学校	高知商業高等学校	私たちの国際協力活動 ～商業高校の力を生かして～
16	商業	大方高等学校	大方高等学校	気仙沼で !! 繋がろう !! 食べよう !! 広めよう !! カツオたたきバーガー

Collaboration between Regional School Education and KUT: 2012: Evaluation and Summary

Masahiro Nagasaki*

(Received: May 7th, 2013)

Core Studies, Kochi University of Technology
185 Tosayamadacho-Miyanokuchi, Kami, Kochi, 782-8502, JAPAN

* E-mail: nagasaki.masahiro@kochi-tech.ac.jp

Abstract: This paper reports and evaluates the educational research projects collaboratively implemented by regional primary and secondary schools and Kochi University of Technology in 2012. The last several years have seen some improvements in collaboration between schools and KUT, and the new directions of collaborative projects is becoming clear. In order to make our new vision possible, it is hoped that every faculty member work together collaboratively.